

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和5年11月27日

公表：令和6年3月4日

事業所名：児童発達支援事業どんぐり

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			・部屋を分けたり、子どもを入れ替える形で適切なスペースが確保できるように配慮している。	・建物の構造上の制約や備品の経年劣化については、定期的な点検と入れ替えを検討していく。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			・利用人数や子どもの特性に応じてグループに入る職員数を調整している。また密にならないように配慮している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>			・玄関付近に一部段差はあるが室内はマットを敷くなど対策を行っている。 ・お子さんに合わせた支援を都度考え、講じている。 ・必要に応じてパーテーションを利用している。	・玄関や洗面所に段差はあるが、現在利用しているお子さんについては、安全に過ごす上で許容範囲内であると捉えている。引き続き、お子さんに段差があることを伝え、保護者や職員で見守り、事故につながらないように配慮していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>			・毎日の清掃に努めている。 ・活動室とあそぶ場所を分けている。あそぶ部屋に絨毯を敷き、心地よく過ごせるよう工夫している。 ・過ごしやすい室内温度に努めているものの、設備と環境のサイズが一致していない。	・経年劣化がみられる玩具や教具もあることから、点検や入れ替えの適切な頻度やタイミングを検討していく。 ・一部、経年劣化の箇所を改善し、室内温度が適温になるよう対策を行っていく。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			・グループ前は、全員で活動の流れや注意点の確認をしている。グループ後に活動の振り返りをして、情報共有や支援方法の検討を行っている。	・スムーズに情報共有がしやすいシステムのプラッシュアップをしていきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			・意向やご意見について、全職員に周知、検討をし、業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			・ホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			・法人として行っている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>			・法人内の研修や外部研修に参加している。 ・状況に応じてオンラインを活用している。 ・事業所内勉強会を月1回開催し、職員の資質の向上に努めている。 ・いつでも資質の向上が行えるように法人としてe-ラーニング研修を導入している。	
業務改善	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			・保護者へのアンケート調査、子どもの発達検査の結果や興味関心、参加状況からニーズや課題を抽出し作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			・発達検査や知能検査の結果を使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>			・打ち合わせで必ず児童発達支援計画を職員間で確認している。 ・事業所独自の評価シートに毎回保護者が児童発達支援計画の目標を記入し、目標を意識して参加できるよう工夫している。グループ終了後は計画に沿った支援の状況について記載し、次回に生かすことができるようしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			・以前の活動の取り組み状況から、プログラム立案を全職員で行っている。	・季節やイベントごと、活動プログラムが固定化されないように引き続き注意を払い、有意義な成功体験や達成体験が得られる機会の提供を目指していく。
適切							

な支援の提供						
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・話し合いを常に行っている。 ・子どもたちの経験が限られないようにプログラムは固定化しないよう創意工夫している。 ・固定化した方が力を発揮できる子どもについては一部固定化し、スキルの定着を評価している。同じ活動プログラムでも毎回異なるねらいや目的を設定している。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			・会議や勤務中の自然な話し合い、職員同士での相談を日頃から行い、状況を確認し、支援計画に活かしている。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・児童発達支援計画や前回の記録を用いて行っている。特に留意すべき点などについては記録に『次回に向けて』の欄を作り、確認しやすいようにしている。	

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・振り返りを行い、情報共有や改善点の共有を実施し、記録に残している。次回に向けての取り組みや支援方法についても振り返りで話し合い、支援記録に残している。	・支援終了後の振り返りだけではなく、ケースを深く知り、適した支援の提供をするため、不定期でケース検討の機会を確保していく。
19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・職員がとる記録については職員間で確認し合い、より正しく記録をとることができるように工夫している。 ・保護者にも記録をとっていただき、より充実した支援につなげができるように工夫している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関と情報を共有し、連携した生活に根差した支援になるよう配慮している。	
23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	・対象児がいない。 ・充実した支援が提供できるよう法人内の各事業所で受け入れの対象児を明確にしている。(現在は法人内の別の事業所で受け入れ体制を整えている)	
24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	・対象児がいない。 充実した支援が提供できるよう法人内の各事業所で受け入れの対象児を明確にしている。(現在は法人内の別の事業所で受け入れ体制を整えている)	
25	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・保育園や幼稚園等に通っている子どもが対象のため、必要に応じて訪問や電話などで情報交換をしている。児童発達支援センターに移行する場合なども、情報を共有している。事業所の見学希望も受け入れている。	
26	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・必要に応じて小学校の訪問や電話などで情報共有をしている。保護者には小学校に向けて支援シートIや相談支援ファイル『かけはし』の作成に向けての支援を行っている。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	/	/	・保育園や幼稚園等の職員の見学を受け入れたり、こちらから職員が訪問したりして職員交流を行っている。	・保育園や幼稚園等に通っている子どもが対象のため、事業所で機会を設けなくても日ごろから障がいのない子どもと活動する機会を十分得ていると判断している。保育園や幼稚園等で障がいのない子どもと活動するなかで課題となる部分については今後も保育園、幼稚園等の職員と連携を取っていく。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・現在は法人内の別の事業所の職員が参加している。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回、活動や課題内容について説明をしながら成長している面などについて話している。 ・おたより帳を活用し、家庭内で困っていることや、保育園や幼稚園等での様子について情報を共有している。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)の支援を行っている	○		・標準化されたプログラムは導入していないものの個々に応じて保護者の対応力の向上を図ることができるよう工夫して支援を行っている。	・ペアレン特レーニングなどの家族支援に向けたプログラムを定期的に実施できる体制を構築。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。	・説明内容が多く煩雑になりやすいため、より分かりやすい伝え方を試行錯誤していく。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		<ul style="list-style-type: none">・毎回支援中に保護者と面談する時間を設け、相談に応じ、支援の方法を一緒に考えている。・相談しやすい雰囲気を心がけたり、支援中でも子どもに相談内容が聞こえないよう配慮や工夫をしている。・必要に応じて個別面談を実施している。	
----	--	-----------------------	--	--	--

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>		・人数を減らして懇談会を実施し、保護者同士が交流できる場を提供している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		・支援中も相談できる時間を設けていいるが、それ以外でも事業所内相談支援加算(面談)を活用し、相談できることを周知し、対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		・月1回のおたよりで活動内容や勉強会の予定などを記載している。 ・概ね2か月に1回程度の頻度でどんぐりだよりを発行している。 ・ご案内が行き届くように、LINEを活用し利用者の利便性に努めている。 ・会報については法人で定期的に発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		・個人情報の提供について契約時に保護者に同意を得て取り扱いに注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		・見える情報で共有しつつ、個々に応じて話し方、伝え方を工夫している。 ・保護者から話しを伺うときは子どもに聞こえないよう配慮している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>		・法人主催のお祭りを開催。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		毎月職員間で実施している。子どもや保護者との避難訓練は3か月に1回実施している。やり方を見る形で教え、実践している。	避難訓練を定期的に実施しているものの、保護者への周知が徹底していないため、毎月のお知らせで伝達をしていく。
	43	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>		・確認している。親子での参加のため、急な体調不良にも保護者と一緒に対応できる状況にある。 ・現在は、入室時に体温や体調を確認し、安全に支援が実施できるようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		・保護者から情報を得ているが、食材の提供は実施していない。 ・食材を食べること以外の活動でも、アレルギーの子どもが在籍している場合はアレルギー源を用いないようしている。	
非常時等の対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		・業務日誌にて事例、対応、改善策、再発防止について記載し、職員間で共有している。	・業務日誌への記載漏れがないよう、ヒヤリハットが起きた時点で記載を心がけていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		・研修に参加したり、虐待防止・身体拘束の適正化委員会を月1回開催し、支援を客観的に振り返る機会を設けている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		・契約時に説明している。 ・身体拘束は行わないが、支援上必要な行動抑制について児童発達支援計画に記載し、保護者の同意を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月4日

アンケート期間：令和5年8月21日～令和5年9月29日

事業所名：児童発達支援事業どんぐり

保護者等数（児童数）31名 回収数20名 割合64.5%

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	0	・先生方はとてもすばらしく、たくさんの経験をされているのだなと実感しています。	・月1回の所内勉強会を実施し、専門性や支援について研鑽をしております。支援内容について疑問点などがありましたらお気軽にお声かけください。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	0	0	0	・わかりやすいスケジュール（終わったら箱にしまい、次に何をやるのかわかりやすい）イスなど、自分が座るところに目印（カラー）がある	・各々の特性に応じた環境の工夫を目指していますが、お気づきのことがありましたら是非職員にお声かけください。ご家庭での取り組みに活かせる内容をご提案できれば幸いです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	0	0	0	・毎回活動内容が変わり、とても刺激になっていて、良い経験になっています。	・毎回使用した玩具はアルコール消毒をしています。窓を開けての換気を実施しています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	20	0	0	0	・本人の苦手を克服するように、その子に合った課題を毎回考えてください感謝しております。	・ありがとうございます。苦手だけでなく、ご本人の強みを活かす課題や支援も同時に取り組んでいます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	0	0	3	・申し訳ございません。こちら私自身がきちんと理解しておりません。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	0		
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	19	1	0	0		・ある一定の期間を開けて同様なプログラムを実施し、経験やスキルの習得と定着を促す場合もあります。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	3	2	4	・どんぐりを通じて、そのような機会はないが、幼稚園に通っているので不満はない。	・保育園や幼稚園等に通っているお子さんが利用しているため、障害のない子どもと活動する機会は、保育園や幼稚園等で十分に得ていると考えています。充実した保育園、幼稚園等生活ができるよう引き続き必要に応じて担任の先生との連携や交流を今後も実施していきたいと思います。

区分		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1	0	0		・丁寧な説明を心がけてはおりますが、内容が多いためご不明な点がありましたらお気軽にお声かけください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18	0	1	1		・契約時と毎回の児童発達支援計画およびモニタリングの際に説明をしています。説明が煩雑とならないよう今後も留意してまいります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※4等）が行われているか	18	2	0	0		・ペアトレのエッセンスを用いて、保護者への提案をしています。今年度の懇談会でペアトレのお話しをした曜日もございます。今後は定期での家族支援プログラムを検討できればと思っています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	20	0	0	0	・おたより帳に近況を書き、それに関して先生が相談にのってくださり、アドバイスをいただいております。 ・毎回、相談できる時間を設けてくれているため、とても相談しやすく心強い。	・グループ療育の中での短い時間でお話しを伺っていますので、時間が不十分なこともあるかもしれません。事業所内相談支援を申し込んでいただきますと、ゆっくりと面談ができますので、ご活用いただければと思います。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育儿に関する助言等の支援が行われているか	20	0	0	0	・面談で助言をいただき家でも役立てています。 ・毎回、相談できる時間を設けてくれているため、とても相談しやすく心強い。	・ご家庭や日常生活で力を発揮できるようになることが一番のねらいです。こちらからの提案や助言に対し、ご家庭での取り組みが難しい場合は、是非取り組みの結果を教えてください。一緒によりよい取り組みを検討していくいたいと考えています。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
明等	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	1	3	8		・今年度は人数を縮小しての懇談会を1回実施しました。保護者からの素朴な疑問や生活の悩み、よかったですツールや支援についての情報交換など、盛り上がる話題も多くあり、ありがとうございました。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	0	0	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	0	0	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17	1	0	2		・毎月、活動内容や研修会の情報などをLINEにてお知らせとして配布しています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	20	0	0	0		
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	2	0	1	・無回答1名	・契約時に感染症の対応についてのご案内をお渡ししています。また、内玄関にもマニュアルを掲示しております。どなたでもご覧いただけますようになっています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3	0	5	・無回答1名 ・通所して日が浅いのでまだ未経験です。	・3ヶ月に1度の頻度で地震または火災を想定した避難訓練を実施しています。毎月のお知らせや室内の掲示板でご案内をしています。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	19	0	0	1	・いつも楽しみに通ってあります。 ・いつも楽しみに通所しています！	・事業にご理解とご協力をありがとうございます。「〇〇の活動が楽しかった」の感想や「〇〇をしてみたい」といったご希望などもお気軽にお聞かせください。
	23 事業所の支援に満足しているか	20	0	0	0	・大変満足しております。	・利用しているなかで、お気づきのことやご不明なこと、疑問に感じたことなど、些細なことでもお話しいただけるような雰囲気づくりを大切にしながら、職員一同、充実した支援の提供に努めていきたいと思います。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和5年11月27日

事業所名 放課後等デイサービスどんぐり

公表：令和6年3月4日

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・活動室と自由あそびの部屋が分かれているため、スペースの確保に努めている。	・建物の構造上の制約や経年劣化については、定期的な点検と入れ替えを検討していく。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・利用人数や子どもの特性に応じてグループに入る職員数を調整している。また密にならないように配慮もしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・玄関付近に一部段差はあるが室内はマットを敷くなど対策を行っている。 ・お子さんに合わせた支援を都度考え、講じている。 ・必要に応じてパーテーションを利用している。	・玄関や洗面所に段差はあるが、現在利用しているお子さんについては、安全に過ごす上で許容範囲内であると捉えている。引き続き、職員で見守り、事故につながらないように配慮していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・活動前に打ち合わせの時間を作り、PDCAサイクルが循環するように工夫している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・意向やご意見について、全職員に周知、検討をし、業務改善につなげている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・法人として行っている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・法人内の研修や外部研修に参加している。 ・状況に応じてオンラインを活用している。 ・事業所内勉強会を月1回開催し、職員の資質の向上に努めている。 ・研修の案内を回覧し情報提供をしている。 ・いつでも資質の向上が行えるように法人としてe-ラーニング研修を導入している。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者へのアンケート調査、相談支援事業所からの児童支援利用計画、子どもの発達検査の結果や興味関心、参加状況からニーズや課題を抽出し作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・発達検査や知能検査の結果を使用している。	
適切な支援の提供	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・年間計画を作成し、調理、制作、外出(買い物)、運動、ゲーム、季節を意識した活動で組み立てている。 ・活動が固定化しないよう工夫している。また、スキルアップを目的にあえて繰り返し経験できるよう活動プログラムを固定化しているものもある。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・休日は運営していないが、長期休暇の際に特別なプログラムを組むようにしている。 ・多機能型のため、長期休暇時も時間延長などが難しい状況。夏休みには活動プログラムに夏祭りやどんぐりクラブなどのイベントを取り入れ、工夫をしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・お子さんの状況に応じて集団的スキルと個別的スキルの計画を設定し取り組んでいる。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・必ず開始前に打ち合わせを行い、想定される事柄や活動のねらい、役割分担を確認している。	・振り返りの時間が捻出しづらいため、タイムスケジュールの見直しを検討していく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・片付けなどをを行いながら、反省点や良かった点を共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・職員間で確認し合って正しく記録をとるようにしている。	・ケース検討の機会が持てるように検討していく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		・保護者が送迎しているため、下校時刻の確認などについては学校には行う必要がないことが現状。必要に応じて個々のケースについて学校との情報共有を実施している。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	・対象児がいない。 ・充実した支援が提供できるよう法人内の各事業所で受け入れの対象児を明確にしている。 現在は法人内の別の事業所で受け入れ体制を整えている。	
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	・より充実した支援を提供することができるよう小学4年生になったら同法人の別の事業所へ移行するため、引き継ぎを実施している。 ・事業所には学校を卒業する対象児がいない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・交流や一緒に活動する機会は設けていないが、地域生活への参加を見据えて日々支援にあたっている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	・現在は法人内の別の事業所の職員が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎時に短時間だが話す機会を設けている。 必要に応じて面談も実施し、情報を共有し共通理解に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		・標準化されたプログラムは導入していないものの個々に応じて保護者の対応力の向上を図ることができるよう工夫して支援を行っている。	・ペアレント・トレーニングなどの家族支援に向けたプログラムの検討をしていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明している。	・説明内容が多く煩雑になりやすいため、より分かりやすい伝え方を試行錯誤していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・送迎時に保護者と情報共有し、悩みや困りごとについては必要に応じて面談を実施している。	
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者会は実施していないが、年1回、懇談会と活動の参観を計画している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情受付先を契約時に説明。玄関にも張り出している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・法人の会報は定期的に発行し、ホームページに載せたり、玄関に設置したりしている。 ・活動の年間予定や変更事項、2か月に1回程度でのどんぐりだよりをLINEにてお知らせしている。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の提供について契約時に保護者の同意を得て取り扱いに注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		見える形での情報共有に努め、個々に応じた疎通形態を工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・法人主催のお祭りを開催。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・職員間では毎月、子どもとは3か月ごとに訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・研修に参加したり、虐待防止・身体拘束の適正化委員会を毎月開催し、適切な対応や各自の支援方法を振り返る機会を設けている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明している。 ・身体拘束は行ないが支援上必要な行動抑制について放課後等デイサービス計画に記載し、保護者の同意を得ている。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書の提出はないが、事前に保護者に食物アレルギーの確認をし、提供しないようにしている。 ・食物を摂取する機会がにはその都度、事前に保護者から確認をしている。 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・業務日誌にて事例、対応、改善策、再発防止について記載し、職員間で共有している。 	

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年3月4日

アンケート期間 令和5年8月21日～令和5年9月29日

事業所名：放課後等デイサービスどんぐり

保護者等数（児童数） 72名 回収数 41名 割合 56.9%

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38	3	0		・子どもの人数などによって十分とは言えないが、概ね確保されている。	・引き続き、活動に支障が生じないスペースを確保し、支援をしていきたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	39	2	0	0	・よく子どもを理解してくれている。	・月1回の所内勉強会を実施しております。支援内容や専門性についての疑問点などありましたらお気軽にお声かけください。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	27	11	2	無回答 1	・床にクッションなどが敷いてある。	・建物の構造上、変更ができないため、段差や注意すべき場所は職員同士で声をかけあって留意しています。
適切な支援	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	40	1	0		・話し合いの上で支援計画書が作成され、それに基づいて支援されている。	・計画についてご不明な点や異なっている部分がある場合は、是非職員にお伝えください。現在の状況を教えていただくことで支援や目標の見直しができます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	40	1	0		・内容が短いスパンで重複することがある。1～3か月ぐらいの間で。	・ご意見ありがとうございます。3か月程度のスパンで同様の活動を設定する場合があります。同様の活動をすることで習得状況や経験の定着を図っています。

の 提 供							
6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	16	11	無回答 4 重複回答あり	<ul style="list-style-type: none"> ・療育中（放課後等ディイサービス）には、同じような子どもたちとの交流ばかりです。 ・公園あそびなどがあれば他の児童と交流があると思うが、交流する必要があるか判断しづらいところである。 ・今までに経験していない。 	障害のない子どもと活動する機会については以前より計画はありません。月に1～2回の頻度の療育となりますので、環境をあまり変えずに個々の特性に応じた支援を実施し、達成感を得たり、自己肯定感を高めたりする活動を中心に活動しています。
7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	1	0		<ul style="list-style-type: none"> ・参加した後には必ず今日の支援の内容や本人の様子を伝えくださいっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご様子をお伝えするのに十分な時間が設定できている状況ではないのが申し訳ありません。ご不明なことがありましたらお気軽にお声かけください。
8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度の参加なので、日頃からとは中々言えませんが、参加する時は、1ヶ月の間の様子を伝えています。 ・一人一人の保護者と短い時間の中でも様子を話し合うことができて、安心する。（送迎付の放課後ディでは、なかなか話せないので余計に感じる） ・毎回、詳細に伝えてくれてありがたいし、子の成長を見守ってもらえていると実感がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活のなかで気になっていることや嬉しい変化など、共有することで支援に生かしていくたいと思っています。

9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談は希望した時に行われ、状況で申し込んでいます。その時に助言を頂いています。(有料で) ・放課後児童クラブへのアドバイスなど丁寧にご対応頂きました。 ・毎回、詳細に伝えてくれてありがたいし、子の成長を見守ってもらえていると実感がある。 	<p>・ご意見ありがとうございます。送迎の限られた時間で情報共有をしているため十分なお話しができない場合もあります。ご希望により事業所内相談支援を申し込みいただき、相談時間を確保しています。定期的に月1回の頻度で相談時間を探している方もいらっしゃいますのでぜひ活用のほどご検討ください。</p>
保護者への説明等	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	15	5 重複回答あり	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会など参加していないので、わかりません。 ・まだその機会に参加した経験がないです。 	<p>・本年度は活動の参観と懇談会を実施いたしました。年間予定には記載がありましたが、次年度は日程が近くなりましたらLINEでも併せてご案内できればと思います。</p>

11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情を言うことがない、いい対応をもらっている。 ・苦情や対応に対し、今までに問題になった事はありません。又、見聞きしたこと也没有。 ・まだ、そのような状況になったことがなく、わかりません。 ・苦情ではないが、同じグループの子で距離が近い子がいて子どもが困っていた時は、他の先生方にも迅速に情報共有と事実確認されて、親への回答も丁寧にしていただき、安心しました。 ・苦情を言ったことがないため、わからない。 	・些細なことでも気になったことがあります。したら、是非職員にお声かけいただけと幸いです。
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	38	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんと聞こうという姿勢を感じます。アドバイスも頂けます。 ・こちらが求めれば、可能性はある。応じてもらえると思う。 	
13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	40	0	0	無回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインでよくメッセージが届きます。
14	個人情報に十分注意しているか	41	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・今の所、問題ありません。

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	38	0	3		・お手紙を頂いたことがあります。	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	2	0		・防災訓練が月に一度くらいあります。子供から良く聞きます。	
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	39	1	0	無回答 1	・表情や行動を見て、楽しんでいる様子がわかる。 ・今日は、何をするのか聞いてきます。 ・ここに行くと言うと嫌がらず行動に移せている。 ・今日、どんぐりに行く日だと伝えるやった～と喜んでいます。	・事業へのご理解とご協力誠にありがとうございます。年間予定を元に、いらっしゃる前に保護者からお子さんに本日の予定をお伝えしていただいるご家庭も多く、お子さん自身がねらいを持って参加していただく姿に職員一同嬉しくなります。「○○の活動が楽しかった」の感想や「こんな活動があれば」などのご希望もお気軽に職員にお話しください。
満足度	18	事業所の支援に満足しているか	40	1	0		・子どもの成長がみてきています。 ・子供にとって必要なことだと思うので満足です。今後も宜しくお願いたします。 ・2年～3年生は、月1と少ない中で枠にも空きがある感じがするので、2～3年生をまとめて同じ曜日、同じ時間帯にし、4年生以上でも通所出来る様にしてほしい。 ・もう少し回数が多くても良い。	・貴重なご意見や嬉しいご意見を賜りありがとうございます。通所回数や通所できる学年については、充分とは言えず申し訳ありません。今年度から空きのある日にちをお知らせし療育回数が増やせる取り組みをしていきます。他の改善策を検討でしていきたいと考えております。 ・生活の様子を知ることが個別的な支援に繋がると考えています。限られた時間のためお話しができない方ももしかしたらいらっしゃるかもしれません、相談しやすい雰囲気を今後も職員一同心がけてまいります。

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。